

アセアン地域における取組について

1 これまでの取組

- (1) 本年 6 月、有識者会議において、世界の食市場が急速に拡大する中で、産学官が連携し、アジア等の新興国を中心に、経済協力を戦略的に活用しつつ、我が国食産業の海外展開等によるフードバリューチェーン構築を推進するための戦略(「グローバル・フードバリューチェーン戦略」)をとりまとめ、「日本再興戦略」改訂 2014 に位置付け。
- (2) 本戦略の実行のため、6 月 20 日、民間企業、関係府省・機関等で構成する「グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会」を立上げ。
- (3) 6 月 26 日、日越農相(共同議長) 在ベトナム日本大使、日本企業(11 社)、JICA、JETRO の代表の出席を得て、日越農業協力対話第 1 回ハイレベル会合(ハノイ)を開催。日越の官民連携によるベトナムにおけるフードバリューチェーン構築のための中長期ビジョンの策定に合意。
- (4) 9 月 23 日、日ミャンマー農相(共同議長) 在ミャンマー日本大使、日本企業(14 社)、JICA、JETRO の代表の出席を得て、日ミャンマー農林水産業・食品協力対話第 1 回ハイレベル会合(ネーピードー)を開催。日本とミャンマーの官民連携によるミャンマーにおけるフードバリューチェーン構築のための具体的方策の検討開始を確認。また、9 月 23 日の ASEAN 農林大臣会合及び翌 24 日の ASEAN+3 農林大臣会合の際に、日本側より ASEAN 地域におけるフードバリューチェーン構築を説明し各国が支持、共同プレスステートメントに明記。

2 当面の対応

(1) ベトナム

- ・ 日越農業協力対話の枠組の中で、アセアン部会と連携し、民間投資と経済協力の連携によるフードバリューチェーンの案件形成、中長期ビジョン(モデル地域設定、計画期間 5 年)の素案作成等を進め、本年 12 月に開催予定の日越農業協力対話コアメンバー会合で議論。
- ・ 来年 6 月頃の日越農業協力対話第 2 回ハイレベル会合で中長期ビジョンの承認を目指す。

(2) ミャンマー

- ・ 日ミャンマー農林水産業・食品協力対話の枠組の中で、アセアン部会と連携し、民間投資と経済協力の連携によるフードバリューチェーンの案件形成等を進める。

(3) アセアン全体

- ・ 本年 11 月 12 - 13 日の ASEAN 関連首脳会議(ネーピードー)において、ASEAN 地域におけるフードバリューチェーン構築の推進につき上記農林大臣会合の成果を盛り込むべく調整。

(4) インドネシア

- ・ 本年 4 月の日インドネシア農業副大臣間の基本合意に基づき、ジョコ・ウィドド新大統領率いる新政権発足の動向等も見つつ、来年早期の日インドネシア農業協力対話第 1 回ハイレベル会合(仮称)の開催に向け調整。